

解答例

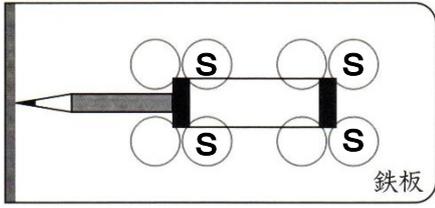
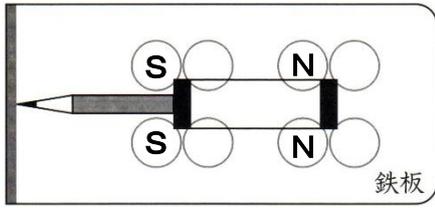
適性検査 I

1	問題 1	はじめは、友人たちはうまくひけ、自分だけが失敗したと悲しく思ったが、のちに、かれらは失敗してもその全責任はかれら自身がせおい、他人には絶対に泣き言をいわない、という考え方をしているのだと思った。(97字)	20点
	問題 2	しずむべきものはしずみ、うかぶべきものはうかび、そしてうかんだものだけがうまく自然につながって、自分の目でしっかり見て頭の中にきざみこまれた情景やふんいきやにおいや音などが文章になっていくから。(97字)	20点
	問題 3	(省略)	60点

適性検査Ⅱ

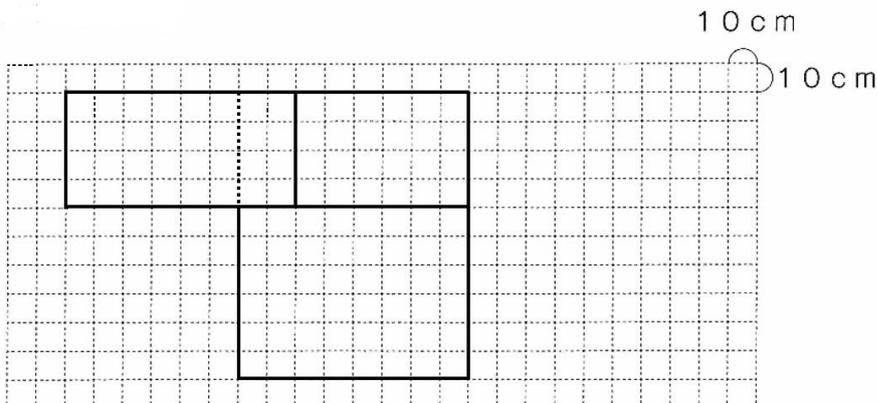
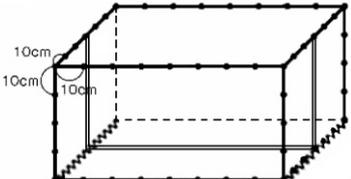
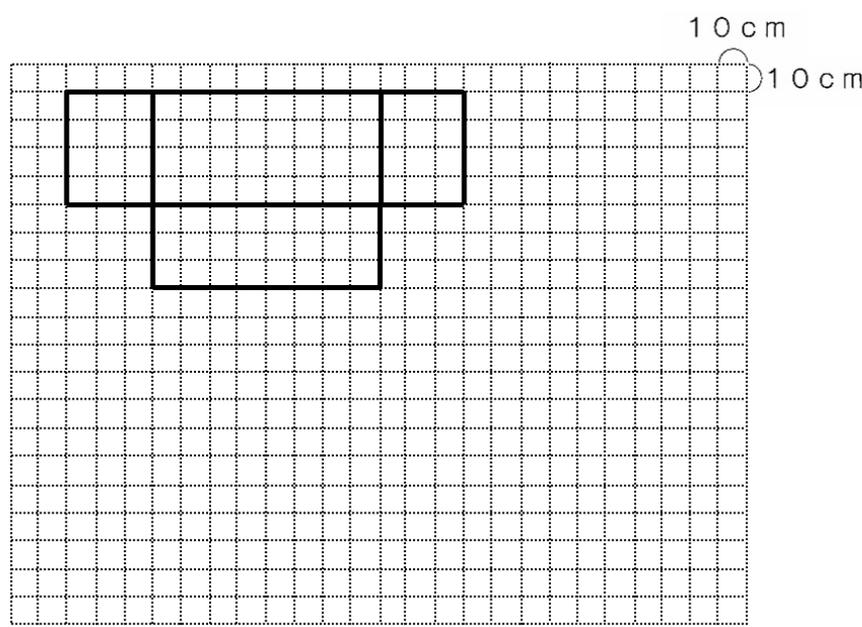
	問題 1	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">21</td> <td style="text-align: center;">28</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td style="text-align: center;">32</td> </tr> </table>				14	21	28	16	24	32	16点																					
		14	21	28																													
16	24	32																															
<p>〔説明〕 AとCの和はBの2倍になっていて、DとFの和はEの2倍になっている。 したがって、BとEの和の3倍が、6個の数の和と同じになる。 $135 \div 3 = 45$なので、BとEの和が45になる場所を見つければよい。</p>																																	
1	問題 2	〔アの側面に書く4個の数〕		〔イの側面に書く4個の数〕		24点																											
		1	2	3	5		1	3	4	5																							
		〔ウの側面に書く4個の数〕		〔エの側面に書く4個の数〕																													
		1	2	3	7		1	3	4	7																							
		〔アの展開図〕 <small>てんかいず</small>		〔イの展開図〕																													
		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table>		5	●		3					1		2	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		5					4	●	3					1				
5	●	3																															
		1		2																													
5																																	
4	●	3																															
		1																															
〔ウの展開図〕		〔エの展開図〕																															
<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> </tr> </table>		2						1	7					●	3		<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">7</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">●</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				7				4	●	3			1			
2																																	
	1	7																															
		●	3																														
		7																															
	4	●	3																														
	1																																

	問題 1	<p>図 1 より、主ばつに適した林れいは、50 年以上であることが分かる。図 2 の 2017 年の林れい構成をみると、主ばつに適した林れい 50 年をおかえる人工林の面積は大きいですが、林れい 30 年よりもわかい人工林の面積は小さい。1976 年、1995 年、2017 年の変化から、林れい 50 年以上の人工林が主ばつされると、しょう来、主ばつに適した人工林は少なくなっていくことが予想される。よって、利用することのできる木材の量が減ることが課題である。</p>	15 点
2	問題 2	<p>(選んだ二つを○で囲みなさい。)</p> <p style="text-align: center;"> <input type="radio"/> 図 3 <input type="radio"/> 図 4 図 5 </p> <p>図 3 のように商品を生産する立場の人たちが、間ばつ材を使った商品を開発したり、利用方法を考えたりすることで、さまざまな商品が生まれる。また、商品を買う立場の人たちも、図 4 のような間ばつ材を知ってもらう活動を通じて、間ばつや、間ばつ材を使った商品に関心をもつ。これらの活動から、商品を売ったり買ったりする機会が生まれ、間ばつ材の利用がそく進される。</p>	15 点

3	問題 1	<p>(1)</p> 	14点
		<p>(2)</p> 	
		<p>〔理由〕</p> <p>図6から、(え)は(あ)に対して、つつの右側のじ石の極は変わらないが、左側のじ石の極は反対である。図7のイより、鉄板に置く4個のじ石のうち、右側の2個のじ石の上側の極は変えずに、左側の2個のじ石の上側をN極からS極に変えるとよいから。</p>	
	問題 2	<p>(1) 2個</p> <p>(2) 〔大きい場合〕 ②</p> <p>〔理由〕</p> <p>①はA方向がそろっていないので、N極とS極が引き合う部分と、N極どうしやS極どうしがしりぞけ合う部分がある。それに対して、②はA方向がそろっているので、ほとんどの部分でN極とS極が引き合う。そのため、①より②のほうが引き合う部分大きいから。</p>	16点

適性検査Ⅲ

	問題 1	<p>数字や記号の順番</p> <p>7, -, 2, ×, 3, +, 1, 5, = とおす。</p> <hr/> <p>考え方</p> <p>$3 \times 7 - 2 \times 3$ は $(7 - 2) \times 3$ と考えることができる。</p> <p>$3 \times 7 - 2 \times 3$ の正しい答えである 15 を電たくで求めるためには 7, -, 2, ×, 3 とおせばよい。</p> <p>よって、7, -, 2, ×, 3, +, 1, 5, = とおすと、正しい答えである 30 を電たくで計算し、表示させることができる。</p>	15点
1	問題 2	<p><input type="text" value="う"/> に入れることができる数</p> <p><input type="text" value="2.20"/> または <input type="text" value="2.21"/> と押す。</p> <hr/> <p>理由</p> <p>右のスイッチを2に合わせてあるので、電たくに表示されている数は小数第3位を四しゃ五入した数である。小数第3位を四しゃ五入して 3.00 となる数は2.995以上、3.005未満なので、あに当てはまる数はそれぞれから1.029を引いた、1.966以上、1.976未満。小数第3位を四しゃ五入して 1.04 となる数は1.035以上、1.045未満なので、い に当てはまる数はそれぞれから0.804を引いた、0.231以上、0.241未満。よって あ と い を足した数は2.197以上、2.217未満の数であり、四しゃ五入すると、2.20, 2.21, 2.22の3種類あるから。</p>	20点

	問題 1	<p>上から見た図</p>  <p>10 cm 10 cm</p>	15点
2	問題 2	<p>見取り図</p>  <p>10cm 10cm 10cm</p>	
	問題 2	<p>上から見た図</p>  <p>10 cm 10 cm</p>	15点

3	問題 1	<p>選んだ野菜</p> <p style="text-align: center;">ホウレンソウ</p>	20点
		<p>選んだ理由</p> <p>期間が5月1日から6月30日までなので、しゅうかくまでの日数が60日以内のものを表1から選んだ。また、発芽温度と生育温度が、5月1日から6月30日における図2の月別平均気温と図3の月別最高気温と月別最低気温のはん囲に入っているものを選んだ。</p>	
	問題 2	<p>調べたいこと</p> <p>より多くのしゅうかく量を得るために、どのように種をまけばよいか。</p>	15点
		<p>観察記録用紙</p> <p>同じ面積になるように花だんの中を2つに区切る。</p> <p>一つは、種をまく間かくをせまく、上下左右を10cmくらいにして、より多くの種をまく。</p> <p>もう一つは、種をまく間かくを広くとり、上下左右を50cmくらいにして、十分に間かくをとって、種をまく。</p> <p>種のまく間かく以外の条件はできるだけ同じにして、水を十分にあげ、成長記録をつける。</p> <p>成長記録には、野菜の草たけ、葉の数、花の数、しゅうかくの数や花がさき始めた日にちやしゅうかくできるようになった日にちなどを記録する。</p> <p>しゅうかくしたら重さをはかり、どちらのまき方が良いのかを比べる。また、その原因について観察記録を使って考える。</p>	